

口永良部島

本村・湯向

人口は約100人で、その多くはフェリー港のある本村集落に暮らしています。訪問にあたって気を付けたいのが、島には公共交通機関が無いこと、また飲食店も無いため、移動手段や食事をどうするか事前の準備が大切です。また天候等により船が止まることもあるので、余裕のあるスケジュールがおすすめです。



口永良部島

口永良部島(くちのえらぶじま)は屋久島からおよそ北西約12キロ、1日1便のフェリーに乗ることで行ける火山島です。島の全域が「屋久島国立公園」「生物圏保存地域(通称:ユネスコエコパーク)」に認定されています。良質な温泉が湧き、周囲の海は黒潮の恩恵を受けてとても豊か。天然記念物エラブオオコウモリなど、希少な動植物にも出会えます。

山の神を鎮める

金峰神社(花尾神社) [本村] [MAP①]

山の神様である金山比古命、金山比売命を祀る神社。例祭は天保12年(1841)の大噴火があった旧暦の4月3日と6月15日で、6月のお祭りでは棒踊りと日の本踊りが奉納されます。境内には、お産の神様として、島津氏の祖・忠久の母親である丹後の局を祀る花尾神社もあります。

[所在地] 屋久島町口永良部島1224



写真提供: 口永良部島観光サイト

西郷隆盛ゆかりの資料も展示

口永良部歴史資料館 [本村] [MAP②]

島唯一の学校である金岳小中学校の特別教室棟内にある資料展示スペースで、島内で使われていた民具や歴史書などの展示があります。その中には奄美大島からの帰途、口永良部島に立ち寄った西郷さんが、お風呂を借りたお礼に残した財布についての資料も展示されています。

[所在地] 屋久島町口永良部島656 [電話] 0997-49-2141

*校舎内の展示スペースなので見学の際は予め金岳小中学校へご連絡ください



島のお魚屋さん

港のとと屋 [本村] [MAP③]

口永良部島で初めてできた水産加工場。島の鮮魚や加工品などを販売しています。おすすめはもちもちとした食感のブダイを使った「おさかなハンバーグ」。屋久島のだいたい果汁を使ったソースとも相性がぴったり! 予約制でお昼のお弁当もあります。

[所在地] 屋久島町口永良部島373 [営業時間・定休日] 不定期

※お問い合わせ・お弁当の予約は公式HPから。



写真提供: 口永良部島観光サイト

口永良部島は活火山です。

2015年の噴火以降、口永良部島での噴火は発生しておらず、現在火山活動は静穏ですが、活火山であることに留意しての訪問をお願いします。万が一、噴火警報が発表された際は、対象範囲とレベルをあわせて確認し、適切な対応を取るようお願いします。口永良部島の「噴火警戒レベル」の詳細については気象庁のホームページをご覧ください。



気象庁HP「火山活動の状況(口永良部島)」

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity_info/509.html



2015年の噴火

写真提供: 口永良部島観光サイト

島ならではの個性ある温泉であたたまろう

口永良部島には、火山の恵みによる4つの温泉があります(一部、現在利用不可)。屋久島が非火山性のアルカリ性なのに対し、口永良部島は火山性の酸性で、さらにいずれの湯も泉質や効能が異なるのが特徴です。



島民憩いの場 本村温泉 [本村] [MAP④]

2008年7月に完成した温泉施設。休憩スペースもあり、島民もよく利用する温泉です。泉質は単純温泉で、鉄分が多いため、薄茶色をした湯が特徴です。源泉は約38℃のため、沸かし湯になります。

[所在地] 屋久島町口永良部島572 [営業時間] 16:00~19:30
[定休日] 月曜 [電話] 0997-49-2934



湯の花が舞う 湯向温泉 [湯向] [MAP⑤]

島の北側にある湯向集落で大切にされてきた温泉。泉質は含硫黄泉・ナトリウム・塩化物温泉で、透明な湯の中に湯の花が舞っているのが特徴です。2023年7月に建物が新しくなりました。

[所在地] 屋久島町口永良部島1739-2

[営業時間] 14:00~20:00 [定休日] 月曜

[電話] 0997-49-2100 (屋久島町口永良部島出張所)



ワイルド感ある 西之湯 [MAP⑥]

海辺に佇む漁師小屋のような建物に、女性優先の内風呂と男性優先の半露天風呂があります。泉質はナトリウム塩化物泉。源泉温度が約60℃と熱いので、お湯が冷めてくる17時以降がオススメです。

[所在地] 屋久島町口永良部島825-2 [定休日] 無し(時化の際には注意)
[営業時間] 17:00以降(※) ※17時以降に適温になるよう調節しています。時間外にはお湯がなく入れない場合があります。

屋久島の歴史と文化を感じる！モデルコース

祈りと暮らしの記憶を撮る！

文化の痕跡をたどる屋久島フォト旅



苔むした神社、岳参りへの道、山から海への水の流れ。屋久島には、人の営みが自然と共にあった証が、いまま随所に息づいています。写真家でもあるガイドがご案内するのは、そんな文化の痕跡を見つめなおす“被写体”としての屋久島。時を超えた風景を、あなたの感性で切り取ってみませんか。

● 原の益救神社

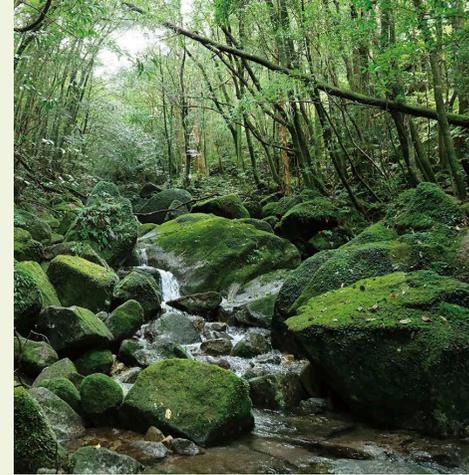
屋久島町原 721-2 車にて安房から約20分

益救の名を冠する神社のひとつ。境内には苔むした石段、亜熱帯の植物が育つ。背後には神山（森山）と呼ばれる丘があり、奥岳への垂直信仰と同時に里近くの森山を信仰する水平信仰として貴重な場所です。



屋久島の里エリアには、写真の被写体としても美しい場所が多数あります。

屋久島公認ガイド
古賀 顕司さん



岳参りの道、コケの森を写す。

● 安房前岳入口付近

屋久島町安房 ランド線標高600m

春牧区の岳参りの山、安房前岳。この山をあえて登らず登山口から5分以内の場所でコケ散歩。じっくりとコケを観察できるスポットです。あまり歩かずコケの森の写真を撮ることができます。

V字谷の渓谷、照葉樹林と川面を写す。

● 松峯大橋 屋久島町安房

町道にかかる高さ約80mの橋。上流側を見るとV字谷の渓谷、下流側は川面と海の水平線。照葉樹林を俯瞰で撮れるポイントでもあります。



9:00

10:00

11:30

13:00

15:00

16:00

苔むす参道、コケの道を写す。

● 麦生 大山神社

屋久島町麦生 728-23

具体的な来歴は定かではない神社。大山という名から山の神を祭っていることがうかがえます。参道が一面コケに覆われており神秘的な雰囲気。ゆっくり時間をかけて光を待つと良い。美しい写真が撮れます。



里の森のガジュマル、亜熱帯の森を写す。

● 猿川のガジュマル

屋久島町安房 中橋バス停から徒歩約10分

車を5台ほどとめることができる駐車場から5分ほど歩くと、広がりがあるガジュマルに出会えます。そこに至る道もヘゴなど大型のシダが育ち亜熱帯の雰囲気を味わえます。



● または トローキの滝

屋久島町麦生

海に落ちる滝を写す。

ぼん・たん館から5分ほど歩くと、海に直接落ちる滝を見ることができます。背景にはモッコヨム岳がそびえ立ち、朝や夕方など光によって印象の違う写真を撮ることができます。



\\ おすすめランチ //

地魚のひつまぶしがお勧めの人気店

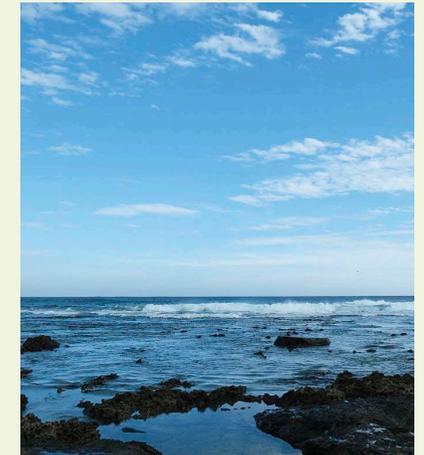
かたぎりさん 屋久島町安房 540-62

[営業時間] 11:00~15:00

[定休日] 日曜 [電話] 0997-46-4282



安房の一周道路沿いにあるお店。地魚のひつまぶしを唯一食べることができます。締めはさらりと食べられる、あご出汁のお茶漬けがおすすめ。人気店のため、予約をしておくのが安心です。



潮だまりに空を写す。

屋久島町安房 ● 春田浜海水浴場

夏は海水浴客でにぎわうポイントが、秋から春にかけては静かな場所に。風がない日は潮だまりに空が写り面白い写真が撮れます。

屋久島の歴史と文化を感じる！モデルコース



自然と共に生きる！

屋久島の暮らしの風景に触れる旅

屋久島の暮らしは常に自然と共にあります。島で暮らす人々が日常で見ている何気ない景色に、様々なストーリーが隠れていたり。美しい暮らしの風景を、ゆっくり訪ねてみてはいかがでしょうか。

● 牛床詣所

屋久島町宮之浦
牛床公園バス停より徒歩約10分

屋久島の里(暮らしの領域)と山(カミの領域)の境界線に位置する詣所。苔むす小さな石塔群は、先人たちの祈りの跡。人々の暮らしが自然と共にある証。そして、お社の周辺に立つスダジイやタブの巨木が、長年、ここが神域として守られてきたことを教えてくれる、小さいながらも美しい場所です。



街灯の少ない屋久島、
空気の澄んだ夜は
満天の星空も楽しみ！



屋久島公認ガイド
内室 紀子さん



● 永田岳と永田集落 屋久島町永田

永田集落の田園風景の奥にそびえ立つのは、屋久島で二番目に高い永田岳。特に、冬の晴れた日は雪をたたえた山肌を見ることができ、屋久島の自然の厳しさを感じる美しい風景となります。その景色を愛でながら、昔ながらの家々と水路が残る集落の散策もおすすめ。歩くときは、そこで暮らす人々への配慮は忘れないようにどうぞお願いします。



● 一湊漁港と赤灯台 屋久島町一湊

屋久島の真北に位置する小さな漁師町、一湊。漁船が並ぶ長閑な風景を眺めながら、その先の赤灯台まで散策するのがお薦め。途中、浜恵比寿に立ち寄ることも。そして赤灯台に近づくと、なんとこの灯台、真っ赤なタイルでできていることに気づくでしょう。そのレトロな可愛さを楽しみながら、ぜひ振り返ってください。大きな山々を背後に抱えた、小さな集落。人々の暮らしが、この自然の営みの一部であることが実感できます。

9:00

10:00

11:00

13:00

14:00

15:30

16:00

● 屋久島町歴史民俗資料館

屋久島町宮之浦 1593

愛称「れきみん館」。屋久島でいくつかある展示施設の中でも最もローカル色が強い資料館。入口では、ヤクシカの剥製が出迎えてくれます。「海に10日、里に10日、山に10日」と言われた、昔の島暮らしの様子や生活道具類が細やかに展示されています。屋久島の自然や暮らしにアニミズムをみた、山尾三省の詩を見ることもできます。



● 志戸子ガジュマル園

屋久島町志戸子 133-1



志戸子集落を海の風や潮から守る暴風・防潮林的な森。中に入ると、ユニークな形のガジュマルやアコウがそこかしこに。足もとには、クワズイモやオオタニワタリも育ち、南国ムードたっぷり。ガジュマル園の前の海岸を散策しても、気持ち良いですよ。

\\ おすすめランチ //

森となりの小さなカフェ

kiina 屋久島町志戸子 181-97

【営業時間】11:00~16:00 (L.O.15:30)
【定休日】日~火曜 【電話】080-8576-4830

ガジュマル園の隣にある、小さな古民家カフェ。オススメランチは、とびうおのつけあげを使った「kiinaサンド」。志戸子集落ならではのニラの入った、オーナー手作りのつけあげとパンの相性が抜群の美味しさです。手作りスイーツのカフェメニューも人気。



● 横河渓谷

屋久島町永田 永田バス停から徒歩約25分

永田集落を最深部まで進むと駐車場があります。そこから10分ほど歩くと、エメラルドグリーンの水が美しい淵に到着。花崗岩の大きな岩が心地よく、昼寝やお茶など、ゆっくりするには最適な場所。夏は地元の子どもたちも泳ぎにくる場所となりますが、流れに不用意に入り込まないなど、安全第一で楽しんでください。

● 東シナ海展望所

屋久島町吉田 白川バス停より徒歩約5分

屋久島一周道路で唯一のトンネルのそばにある展望所です。夕方、時間にゆとりがあれば、お隣の口永良部島や、薩摩硫黄島などの島々が浮かぶ東シナ海に夕陽が沈むまでのんびりしてみても良いかも。

